

放課後等デイサービス オモイダマ各務原 自己評価(令和3年度)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善や工夫していること
環境・ 体制整備	①	指導訓練室のスペースが利用定員に対して適切であるか。	4	1	1	
	②	職員の配置数は適切であるか。	5	1		
	③	事業所の設備について、バリアフリー化等の配慮がされているか。	4	2		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、職員が参画しているか。	4	2		
	⑤	アンケート調査等を実施して、保護者等の意向を把握し業務改善につなげているか。	5	1		
	⑥	事業所の自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	1	5		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	3	3		
	⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営をしているか。	1	5		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	5	1		
	⑪	子どもの適応行動の状況を知るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	5	1		
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	⑬	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		
	⑭	平日、長期休暇等に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	3	3		
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	4		
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	4	2		
	⑰	支援終了後には、職員間で必ずその日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	5	1		

	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげて	4	2		
	⑲	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しがされているか。	4	2		
	⑳	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		
	㉑	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した者が参画しているか	4	2		
関係機関や保護者との連携	㉒	学校との情報共有(年間計画・行事予定、子どもの下校時刻等の確認)連絡調整を適切に行っているか	1	5		
	㉓	医療的ケアが必要な子供やアレルギーがある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	5	1		
	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園等や児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4		
	㉕	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をし		6		
	㉖	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受	4	2		
	㉗	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4		
	㉘	地域自立支援協議会等へ積極的に		5	1	
	㉙	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共有することに	5	1		
	㉚	保護者の子育ての力を支援するために、子育ての悩み等に対して相談支援を行っ	5	1		
	保護者への説明責任	㉛	見学時や契約時に、運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っ	5	1	
㉜		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮しているか。	6			
㉝		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開する等により、保護者同士の連携を支援してい	2	3		
㉞		苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		

ハ	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対し	2	4		
	③⑥	個人情報に十分注意しているか。	5	1		
非常時等の対応	③⑦	非常時における対応やマニュアルを職員は周知しているか。	4	2		
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行って		6		
	③⑨	虐待防止のため、職員の研修会を実施しているか。		6		
	④⑩	やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合は、カンファレンス等において決定し、適切な対応を保護者、職員に周知しているか。		6		
	④⑪	ヒヤリハット事例について事業所内で共有しているか。	5	1		